

市 立 芦 別 病 院 の 歩 み

1950年(昭和25年)4月	北海道厚生農業協同組合連合会芦別厚生病院から芦別町に経営移管、町立芦別病院として開設(診療科目～内科・外科・皮膚泌尿器科・耳鼻咽喉科・産婦人科・放射線科/病床78床)	2003年(平成15年)10月	管理型臨床研修病院の指定を受ける
		2004年(平成16年)4月	小児科休診、耳鼻咽喉科医師の非常勤化
		10月	療養病床を29床に変更
		2005年(平成17年)7月	一般病床を160床に再編
5月	眼科新設	10月	人工透析室増床工事完工(17床を21床に)
8月	小児科新設		64列マルチスライスCT導入
1952年(昭和27年)11月	火災のため全館焼失 労働会館を仮病院にあて全患者を収容、診療を継続	2006年(平成18年)4月	産婦人科の非常勤化 医療安全推進室を設置 委託業者による病院給食調理を開始
1953年(昭和28年)4月	市制施行により市立芦別病院に改称	2007年(平成19年)2月	1.5テスラMRI、デジタルマンモグラフィ、経鼻内視鏡導入
6月	全面改築工事着工	3月	一般病棟入院基本料10対1承認適用
1954年(昭和29年)11月	新病院落成、病床増設243床(一般124床、結核119床)となる	4月	地域医療連携室を開設
1955年(昭和30年)1月	精神神経科新設	11月	院舎冷房工事完工
8月	歯科新設	2008年(平成20年)2月	一般病棟再編(4階の病棟を西病棟に集約し、40床を休床して120床に)
1957年(昭和32年)7月	総合病院認可	10月	外来カルテ一元化
1964年(昭和39年)4月	精神神経科及び歯科を廃止 企業会計適用	2010年(平成22年)2月	医用画像情報管理システム(PACS)導入
1965年(昭和40年)4月	救急病院告示	2011年(平成23年)2月	休床中の4階東病棟を芦別市介護老人保健施設(通称:すばる)に貸与することを前提に療養病床に変更
1967年(昭和42年)6月	呼吸器科新設	6月	臨床研修病院の指定取消しを申請(厚生労働省医道審議会部会での審議の結果、23年9月、正式に取消し通知あり)
1971年(昭和46年)12月	病床数243床の内訳を変更 ・一般124床→187床 ・結核119床→59床	2012年(平成24年)4月	整形外科外来の非常勤化 地域医療連携室を1階に移設 4階東病棟を介護老人保健施設に転換し、療養休床20床をすばるに貸与を開始する
1974年(昭和49年)4月	麻酔科新設	2013年(平成25年)10月	一般病棟再編(内科系病棟の集約・病棟再編に伴う変更、12床を休床して88床に)
1983年(昭和58年)1月	皮膚泌尿器科を皮膚科と泌尿器科に変更	2016年(平成27年)10月	一般病床98床、療養病床31床に変更
1986年(昭和61年)5月	新病院改築工事着手	2013年(平成28年)9月	3階東病棟再編(外科系病棟の45床を休床して88床に)
1988年(昭和63年)4月	新病院(芦別市本町14番地)開院(病床数:一般220床)	2016年(平成28年)10月	外科外来の非常勤化
1994年(平成6年)9月	在宅訪問診療・看護・リハビリ開始	2017年(平成29年)4月	麻酔科休診
1995年(平成7年)12月	院舎増築工事完成		
1996年(平成8年)1月	循環器科(人工透析室)新設		
1997年(平成9年)10月	芦別市老人保健施設併設医療機関として認定		
1999年(平成11年)6月	院内物流管理システム(SPD)稼働開始		
2001年(平成13年)9月	院外処方箋発行開始		
2002年(平成14年)8月	ナースコール、院内ポケベルのPHS化実施		
2003年(平成15年)8月	5階西病棟を療養病床に移行 一般170床、療養30床に変更		